

令和二年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、東大和市小学校教育研究会の活動はありませんでしたので、令和元年度の研究のまとめを掲載します。

令和元年度東大和市小学校教育研究会理科部研究主題

「楽しさや驚きを通して、学ぶ喜びを味わえる理科学習」
～主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善～

1 研究主題設定の理由

理科では子供にとって身近な自然を対象とし、科学的な手続きを経て概念を構成する学習活動が求められることになる。その際、子供自身が課題をとらえ、それを進んで解決したいという意欲をもって学習に取り組めるように、本研究主題を設定した。本主題は、理科部が継続して研究を深めているものである。

平成29年3月告示の新学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」という視点が示されている。本市の児童の実態として、教師から与えられた問題や実験を行うことが多いことが課題としてあげられた。また考察の書き方が分からない子や学んだ内容を実生活につなげて考えることができない子がいることも課題である。

学ぶ喜びを味わう過程で友達との協同的な学習を行うことが必要と考え、伝えるべき自分の考えをもつ「自己との対話活動」や、子供たちがそれぞれの考えを比較し検討する「相手との対話活動」を充実させていくことにより、深い学びにつながっていくと考えた。

そこで、今年度理科部では、主体的・対話的で深い学びの視点を以下のようにおさえ、授業改善を図ることとした。

深い学び…「見方・考え方」を働かせ、資質・能力を身に付けるとともに、それを次の学習や日常生活における問題発見・解決に活用する。

主体的な学び…問題を見出し、見通しをもって観察・実験の計画を立案したり、得られた知識を基に、次の課題を発見したりする。

対話的な学び…課題の設定や実験計画の立案、観察・実験の結果の処理などの場面で、あらかじめ個人で考え、その後互いに、意見を交換し、より妥当な考えにする。

2 研究経過

- 5月 8日 年間計画（研究組織・研究主題・活動計画）（七小）
- 6月 5日 年間計画確認、2学期授業指導案検討（三小）
- 7月 3日 研究授業 第六学年「太陽と月の形」（九小）
- 7月26日 来年度新教材検討、2学期指導案検討（三小）
- 9月 4日 12月指導案検討（十小）
- 10月 9日 中教研研究授業参観 第2学年「電流とその利用」（二中）
- 11月 6日 12月授業指導案検討（十小）
- 12月 4日 研究授業 第4学年「自然の中の水のすがた」（十小）
- 1月15日 研究のまとめ（二小）